

◇===== [第 50 号] =====◇

唯契の窓 唯物論的社會契約論研究所月報

2022 年 8 月 1 日

◇=====◇

7 月は発行をお休みさせていただき、落選運動に取り組ませていただくことができました。ありがとうございました。それについては【活動報告】にて触れさせていただきます。

さて、参議院議員選挙が行われました。その最中に安倍晋三元首相の殺害事件が発生し、様々な波紋が広がっております。今月はまず安倍晋三殺害事件とその周辺について述べてみたいと思います。

(一) 事件の本質について

この事件は報じられているように、山上徹也容疑者が母親の似非宗教団体(世界平和統一家庭連合=旧統一教会、以下「統一教会」と呼称します)加入によって被った被害を恨み、その矛先を統一教会と関係の深い人物である安倍晋三個人に向けて行った凶行です。つまり、事件の背後にはいろいろと隠されている問題が山積してはいますが、本質的には個人の恨みによる殺人事件です。

しかし、この事件発生当初から、一部マスコミ解説者や政治家の間では、これを政治的テロリズムと決めつけた発言が多数ありました。このような見方は事件の本質を見誤らせるものであり、違和感を覚えます。殺人そのものはどのような理由があっても許される事ではないことはもちろんですが、その一方で安倍晋三氏の死を最大限に利用したい思惑を持っている人々がいることに留意する必要があると思います。

(二) 事件を利用する目論み

事件は何重にも利用されようとしています。

まず上がったのは、先ほど指摘した「政治テロ」化です。自民党を中心に直後から「言論の封殺を許すな」「選挙の自由を守れ」といったコメントが発せられ、安倍氏を言論封殺の犠牲者として描き出しました。この結果、

「各社の出口調査を見ると、自民党圧勝だ。地元を回っていたときは、3年前の参院選に比べて関心が薄いと思っていたが、投票率の上昇を見ていると安倍元首相銃撃事件が影響しているといわざるを得ない」

との発言が出るほどの状況となりました¹。実際には自民党への支持はそれほど伸びているわけではなく、閣僚の認識内での話ですが、それでも安倍殺害事件

¹日テレNEWS (2022 年 7 月 10 日 20 時配信)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7ac752103c7f04f94cab5adfe8668cec4c1de99d>

が無ければ票の減少はもっと多くなっていた可能性もあります。例えば、FNNプライムオンラインは

「有権者はこの歴史的事件を受け、どのような気持ちで1票を投じたのだろうか。その声を取材すると、安倍元首相の事件を受けて「投票先を自民党に変えた」という人も少なからず存在した」

と報道し、自民党支持を止めようとしていた有権者を一定つなぎとめた例を複数紹介しています²。

次に事件の原因追求と称して、「首相演説ヤジ排除事件」を引き合いに言論の自由を封殺しようとする動きです。この事件は、安倍晋三が前回の参議院選挙の折、札幌での演説の際に自らを批判するヤジを飛ばした聴衆を「あんな人たちに負けるわけにはいかないんです」と激昂して敵視、道警が発言メンバーを強制的に排除した警察による言論封殺事件です。札幌地裁判決では道警の違法を認定したのですが、こうした「甘さ」が事件の背後にあるという論法で、公開の場での政治家との議論そのものを封殺することを合法化しようという動きです。詳細は紙面の関係で省きますが、関心のある方は弁護士ドットコム「安倍元首相の警備に「ヤジ排除」地裁判決は影響したか？ 元警察官僚の弁護士の見方」という記事³や「安倍氏殺害でネット言論が暴走 | ヤジ排除訴訟原告ら真っ向反論」と言った記事⁴をご覧ください。

さらに利用は続きます。いわゆる「安倍国葬問題」です。岸田政権が安倍元総理の国葬にこだわる理由は、結局のところ安倍神格化による自らの政権政策の正当化にあるとする指摘は当を得ていると思います。

自由法曹団は反対声明⁵の中で次のようにその危険性を指摘しました。

「こうした中で国葬を実施すれば、安倍元首相を礼賛するという実際上の効果をもたらすこととならざるを得ない。その結果、安倍元首相の批判への攻撃に拍車がかかり、市民間の分断を一層助長するおそれが強い。そうなれば自由な言論は保障されず、民主主義が危機に瀕することも懸念される。」

岸田政権としては、アベノミクスという稀代の愚策を継承することに安倍神格化によるお墨付きを得ることができる上、安倍の悲願であった憲法改悪にも強権的に取り組めるという思想動員の最大の装置として国葬は不可欠だと判断しているものと思われます。既に閣議決定を経て諸外国にも通達するようです

² FNNプライムオンライン(2022年7月10日22時21分配信)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/14ebd2ccac2324851cce92cedf092ec090ee2b5d>

³ https://www.bengo4.com/c_1009/n_14703/

⁴ <https://news-hunter.org/?p=13188>

⁵ https://www.jlaf.jp/04seimei/2022/0721_1271.html

から、国葬強行は考えていると思います。差し止め訴訟はもちろんです、事後の裁判でどれだけ岸田内閣の責任を問うことができるか、民主主義陣営としては十分準備をする必要があろうと思います。

国民の中での国葬について世論調査では賛否が拮抗し、一部報道では反対意見は7割を超えています⁶、逆に若年層では国葬支持率が高いという事実⁷には、警鐘を鳴らす必要があろうと思います。

(三) 事件の真実を追求する必要性

さて、冒頭で述べたように、この殺人事件は山上容疑者の個人的動機に基づく一般的な殺人事件ではありますが、統一教会という似非宗教謀略組織による犯罪行為の犠牲者による社会への異議申し立てと言う側面を有しています。実は事件の全容解明のためには、ここを深く追求することが不可欠だと言えます。

そもそも統一教会(現、世界平和統一家庭連合)は、信者の悩みに付け入る形で洗脳を施し、金銭の納付が救いにつながるとして高額な物品の購入や寄付を行わせ、そこから得られる資金を反共謀略活動につぎ込むという一連の政治活動の経済的起点となっている組織です。もともとは文鮮明が宗教による世界支配を妄想して組織した似非宗教ですから、各国との政治的な結びつきは彼らの基本戦略であり、反共という共通の利害で結びつく保守系政治家も多かった⁸わけですが、安倍晋三はその代表格でもありました⁹。

政治が宗教という隠れ蓑を着た謀略団体と相互扶助的な関係を持つことは、犠牲者(特に家族)にとってどれほどの絶望感を与えるものか、これは被害者の立場に立ってみなければ決してわからないことだと思います。殺人という重い

⁶ 南日本新聞社調べ。2022年7月25日付

<https://news.yahoo.co.jp/articles/03f97ab90219d5e6c45218c7afe5091f82a12fa9>

⁷ 一方、安倍内閣は若年層の支持率が高い特徴があったが、今回も若い世代ほど国葬決定を評価する人が多かった。18～29歳の層は「よかった」が計67・3%で、「よくなかった」は計31・4%だった。30、40代も「よかった」が「よくなかった」を上回った。50代以上の世代は、この結果が逆転している。(フジサンケイ調べ 2022年7月26日付

https://news.goo.ne.jp/article/fuji/politics/fuji-society_politics_QCRBMWHXMNWLWJ1IDYFWS2V5BRU.html)

⁸ 日本維新の会の松井代表(大阪市長)は22日、同連合の関連団体の集会に約20年前前に出席したことを明らかにした。維新は、国会議員と地方議員を対象に同連合との関係を調査する方針を決めた。立憲民主党の泉代表も同日の記者会見で、複数の党所属議員が同団体関連の会合に祝電を出していたと説明した。国民民主党の玉木代表は、同連合の関連が指摘される「世界日報」の元社長から16年に計3万円の寄付を受けたと明らかにしている。(読売新聞オンライン 7月23日)

<https://www.yomiuri.co.jp/politics/20220722-0YT1T50230/>

⁹ 「安倍派が飛び抜けて多かった」旧統一教会と政治家“持ちつ持たれつの関係”その実態とは【報道特集】<https://news.goo.ne.jp/article/tbs/politics/tbs-104928.html>

罪の十字架を背負った山上容疑者ですが、その苦しみを理解しなくては第二・第三の「報復」は防げないのではないかと思います。実体の解明と統一教会の犯罪追及を欠かしてはなりません。

最後に余談ですが、この事件に関連して日本の右翼(特にネット右翼)の程度の低さが露呈しました。日ごろ朝鮮の人々に対して平気でヘイトクライムを行っている彼らですが、親分の安倍晋三からして韓国を神の国として世界支配を目論むような似非宗教教団に祝辞を送っているわけで、まさに自己否定も良いところ。山上容疑者自身も自らをネット右翼だと名乗っており、次のように投稿していたそうです。

2019年12月7日には、《ネトウヨとお前らが嘲る中にオレがいることを後悔するといひ》¹⁰

●===== [時事解説] =====●

7月10日に実施された参議院選挙の結果について検討を行います。

改選前後の結果は次の通りです。

| 政党 | 改選数 | 獲得数 | 増減 | 増減比 |
|-----|-----|-----|----|------|
| 自民 | 55 | 63 | 8 | 15% |
| 公明 | 14 | 13 | ▲1 | -7% |
| 立民 | 23 | 17 | ▲6 | -26% |
| 維新 | 6 | 12 | 6 | 100% |
| 国民 | 7 | 5 | ▲2 | -29% |
| 共産 | 6 | 4 | ▲2 | -33% |
| れいわ | 0 | 3 | 3 | |
| 社民 | 1 | 1 | 0 | 0% |
| N党 | 0 | 1 | 1 | |
| 参政 | 0 | 1 | 1 | |

議席を減らしたのは、公明・立憲民主・国民・共産の各党、増減なしは社民党、それ以外の政党が議席増となりました。特に伸び率からいえば維新の会の倍化は注目に値します。

ではこれらの結果をどう見るのか。前回と同様兵庫選挙区のデータを見ながら考えてみたいと思います。

兵庫選挙区は全県一区定数3名です。このため先の総選挙のように、選挙区

¹⁰ 山上容疑者「冷笑系ネトウヨ」だったことが判明「安倍批判が凶行を招いた」論者に返ってくるブーメラン(Flash7月18日付
<https://news.yahoo.co.jp/articles/68d3927dbf2fe32c74e85847e0c2d4398968e7cc>)

ごとの各党候補者の存在などを考慮した比較分析ができませんので、比例代表の結果についてのみ考察していきたいと思えます。参考表¹¹をフェイスブックにあげていますのでご覧ください。

まず注目すべきは投票率です。前回と比べると3%の増加となっております。投票者実数にして116,249人の増加となります。それでも有権者の半数近い人々が投票を行っていないということ、ここが最も重要な点だと考えます。参考表の並び順ですが、自民党から日本第一党までが保守・右翼、立憲民主党からオリーブの木(つばさの党)までが中間政党、日本共産党から労働者党までが左翼と分類しています。

| 投票率 | 2019年度 | 2022年度 | 増減 | 比率 |
|----------------|---------------|---------------|---------|--------|
| 有権者総数 | 4,600,055 | 4,558,268 | -41,787 | 99.1% |
| 投票者数 | 2,236,344 | 2,352,593 | 116,249 | 105.2% |
| 投票率 | 48.62% | 51.61% | 3.00% | |
| 自由民主党 | 639,104.126 | 634,641.742 | -4,462 | 99.3% |
| 公明党 | 324,578.756 | 287,154.913 | -37,424 | 88.5% |
| 日本維新の会 | 472,068.640 | 635,693.769 | 163,625 | 134.7% |
| 国民民主党 | 88,830.069 | 94,030.164 | 5,200 | 105.9% |
| NHKから国民を守る党 | 47,861.484 | 57,949.221 | 10,088 | 121.1% |
| 幸福実現等 | 11,243.000 | 6,340.000 | -4,903 | 56.4% |
| 安楽死を考える会 | 7,697.000 | | -7,697 | 0.0% |
| 維新政党・新風 | | 2,384.000 | 2,384 | |
| 参政等 | | 83,342.721 | 83,343 | |
| 新党くにもり | | 5,211.000 | 5,211 | |
| 日本第一党 | | 5,248.621 | 5,249 | |
| 立憲民主党 | 292,456.175 | 216,673.579 | -75,783 | 74.1% |
| ごぼうの党 | | 6,377.380 | 6,377 | |
| オリーブの木(つばさの党) | 6,102.239 | | -6,102 | 0.0% |
| 日本共産党 | 179,860.600 | 145,250.657 | -34,610 | 80.8% |
| れいわ新撰組 | 81,351.740 | 74,398.445 | -6,953 | 91.5% |
| 社会民主党 | 25,735.601 | 40,095.382 | 14,360 | 155.8% |
| 労働者の解放をめざす労働者党 | 1,986.144 | | -1,986 | 0.0% |
| | 2,178,875.574 | 2,294,791.594 | 115,916 | 105.3% |

全国の結果とは少し違っていますが、維新の会の伸びが目立ちます。社民党

11

<https://www.facebook.com/hashtag/2022%E5%B9%B4%E5%8F%82%E8%AD%B0%E9%99%A2%E9%81%B8%E6%8C%99%E5%85%B5%E5%BA%AB%E7%9C%8C%E9%81%B8%E6%8C%99%E5%8C%BA%E6%AF%94%E4%BE%8B%E4%BB%A3%E8%A1%A8%E9%81%B8%E6%8C%99%E7%B5%90%E6%9E%9C>

の 155.8%という伸びには、この政党の存続をかけた戦いという必死さの表れかと思われます。

さて、維新の会は 134.7%という伸びで、得票数にして 163,625 票の増加という数字ですが、これは投票総数の伸び 116,249 を上回るものです。新興政党などの獲得数は、前回から消滅した政党の得票と差し引きすると 86,778 票なので、やはり維新の会の有権者の掘り起しと支持拡大が要因なのだろうと思います。問題は立憲民主・共産などの護憲勢力の退潮で、両党の減らした得票数は 10 万票にもなりません。立民は前回の得票数の 74.1%、共産は同じく 80.8%の得票にとどまったという事実は、有権者意識の深刻な表れと言えるでしょう。

ではその意識とは何なのか。やはり最大の原因は政治不信です。それもよく言われるように「どうせ政治は変わらない」などという甘い不信感ではありません。そうした程度の不信であれば、維新の会のような掘り起しに容易に応えそうなものですが、事態はもう少し深刻です。つまり「政治が変わっても世の中は変わらない」というところまで不信が深化しているのではないかという疑念です。そうした意識を生み出した背景には、政権が変わっても自分たちの生活は変わらなかったという旧民主党政権時代の実体験や、選挙制度(特に小選挙区制)の弊害で保守政党の優位は覆しにくいという経験を通した無力感の醸造とともに、なにより根底から世の中を変えるという展望をどの政党も示していないという政治の現状があると考えます。

10 代の若者世代の投票率について、これは総務省の発表資料になりますが、全世代平均の投票率 52.05%に対し 18 歳が 38.67%、19 歳が 30.31%と極端に低くなっています。選挙権拡大後間がないという事もあるのかもしれませんが、若者の心に響く、自分たちの未来を救ってくれる政党はここだという存在が見えないという点も大きいのではないかと。

この点については引き続き検討が必要であろうと思われます。

●=====●

☆====[コラム]=====☆

さて今月の時事解説では参議院選挙の結果について分析をしてみました。基本的な構図は前回の総選挙と同じ傾向を示していると言えます。

そんな中でやはり実際に世の中を変えることができるのだという呼びかけを続けていくことが当研究所の一つの役割だと考えています。

ただ、研究所はあくまで研究機関であって、発言する研究機関ではあっても社会を変える実践部隊ではありません。そこで、思い切って実践部隊を作っ

しまつてはどうかと思うわけでありませう。その名は「世の中ひっくり返し隊」。
今後とも様々な研究号外を発行して行く際に、この部隊への参加者を募つて
みようかなと思つ次第です。

☆＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝☆

【活動報告】

選挙期間中、落選運動ビラ 1000 枚を配布しました。

同期間中、これまでの号外(2020 年のものも含む)など延べ 2000 枚を配布しま
した。

デジタル孔版印刷機の修理を行いました。

今回の参議院選挙において、当研究所は研究所として落選運動に取り組みま
した。デジタル孔版印刷機の故障という不測の事態に見舞われ、配布期間が大
幅に短縮される中で、過去の研究号外なども含め、延べ 3000 枚の配布物を街頭
や地域に配布するなどしました。三田市では投票所ごとの開票集計はしない(で
きない)ので、その効果を測定することはできませんでしたが、効果は 0 ではな
いと信じております。

落選運動の意義としては、運動対象の党派に対する支持を低下させられるこ
と、同時に研究所の独自の研究成果を広報出来る事があります。前者はともか
く、後者は配布した数だけ効果は上がりますから、今後ともこの活動は続けて
いきたいと考えております。

次回の発行は 9 月 1 日を予定しております。